

平成 27 年 // 月 / 8 日

政 務 調 査 報 告 書

栗山町議会議長 鵜 川 和 彦 様

栗山町議会議員

栗山 雅 世

このたび、政務調査のため出張しましたので次のとおり報告します。



日 時	平成 28 年 11 月 5 日 10:00 ~ 17:00
視 察 先	岡山県奈義町
調査事項	第16回 小さくとも輝く自治体フォーラム
対 応 者	
1. 視察目的 2. 視察内容 ①背景 ②特徴 3. 主な質疑 4. 考 察 (感想、政策提 言、課題など)	・南会挨拶 (岡庭一雄 長野県阿智村長) 大震災を経て平成の大合併の弊害を指摘、小さくともこの人の命を守れると語る 記念講演 (食環境トリスト 金丸弘美氏) 「食からの地域再生」と題して「田舎力、地元力を高める食文化」を各地の実践例をあげながら、生きた生きた姿を紹介、過疎の町を逆発想で、地域の産業や特産物を再認識し、売り上げを伸ばしていこう、地域で物づくりをしつづけていこうと、小さくとも で若者もくま、ヒト、夢、力、金が集まる5つの法則 ① 元気力 ② ものづくり力 ③ ブランドデザイン力 ④ 食文化力 ⑤ 環境力と全員の実践をふまえた講演は示唆に富んでいた。 ・分科会 <再生可能なエネルギー> (日本環境学会 和田 武 会長、大阪経済大学教授 遠州 幸美氏) 1. 地球温暖化対策の重要性と原子力利用の

危険性

2. 再生可能エネルギー資源の特性と普及

3. 再生可能エネルギー利用による社会の発展

4. 脱原発 再生可能エネルギー中心社会

長年の研究で、日本のエネルギー政策が

いかに遅れているか、原発依存、最優先

で進められてきたかかわかり、衝撃を

受けた。ドイツ、フランス等、映像を通して

風力、太陽光、地熱などの発電による

もたらされてきたエネルギーは、何万人の

老々方を要し、経済的にも環境的にも

豊かな生活が可能だということも確信

はした。

遠州教授の「福島第一原発で何が

起こったか」は、分かりやすくまとめられた

映像で、3/11震災当日に炉心溶融（

メルトダウン）や圧力容器破損（メルトスルー）

が起きていることや原子力安全基盤機構は

冷却剤喪失事故のシミュレーション動画を

防災担当者の教育向けに作成し警告し、また

東電は無視して来たこと等、今、私たちは

できること、やぶべきことを項目をあけて提案

福島の実全解明なしに他の原発の再稼

働は絶対にさせないことも述べる。